



紋 土 第 122 号  
平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長 様

紋別市長 宮 川 良



件 名 道路整備の中期計画等に係る市町村長アンケートの報告について

上記の件につきまして、別紙により提出致しますのでよろしく申し上げます。

土木課管理係

紋 別 市

## 道路整備の中期的計画に係る市町村長アンケート、回答

### 高速道路ネットワークの整備・活用

#### 1、自動車交通の依存度が高い

国鉄名寄線が平成元年に廃止、さらに紋別札幌間の空路が平成18年に廃止され、陸路を中心とする交通体系となっている。

#### 2、高次医療サービスへの対応

紋別市には、西紋別地区の2次医療を担う地域センター病院として「道立紋別病院」があるが、昨今の医育大学の医師不足により、派遣医師の引き上げが相次ぎ、医療体制の縮小が余儀なくされている状況にある。このため当市と同じ2次医療を担う遠軽町や、3次医療を担う北見市や旭川市、更には札幌市まで救急患者を搬送せざるを得ないことが度々あることから、市民生活の安心安全を確保するために、冬期間でも安心して敏速に通行できる道路が必要である。

#### 3、拠点地と生産地間の物流効率化

基幹産業である農林水産品の大消費地への安全な輸送路を確保することにより、地場産業の活性化が図られる。

特に水産品については、鮮度を保持したまま短時間で大消費地に輸送できるようになれば、消費者ニーズにも対応でき、新たな販路拡大や販売促進が見込まれる。また、一大酪農地帯である当地域への飼肥料の移入や工場乳製品の移送への安定的流通路を確保する必要がある。さらに冬期間閉鎖される『重要港湾紋別港』の実情から、交通機能の低下を排除するためにも、道央圏や網走支庁管内の各拠点を結ぶ交通アクセスを確保する必要がある。

#### 4、観光振興の支援

紋別市の観光スポットであるガリア地区の氷海展望塔「オホーツクタワー」や親水防破堤「クリオネプロムナード」、「ごまちゃんランド」、「道立流水科学センター」などの諸施設と管内で連携して取り組んでいる「花回遊」、他市町村の観光施設との連携や人的交流の拡大、稚内・知床間の238号がオホーツク街道として観光ルートとして定着していることなど、広域的観光ネットワークの形状のための整備が必要である。

#### 5、高規格幹線道路旭川・紋別自動車道の〔遠軽・紋別間〕について

各地域間との人的交流・物流や救急搬送、観光などに安全で利便性の高い交通ネットワークの確保は地域の生活・産業の発展には欠かせない道路である。このため、現在、計画区間である〔遠軽・紋別〕間を早期整備区間として、指定されるよう要望する。

## 防災・減災

### 1、道路密度の低い当地の确实性・代替性の強化

特に冬期の積雪時に津波や地震で道路遮断の場合、国道 238 号の紋別と湧別間又は興部間、国道 273 号の紋別と滝上間は迂回路の確保が難しい。

このため、代替性や災害に強い道路が必要である。

### 2、地域と一体となった防災・減災への取り組み

一冬に 3～4 回は吹雪のため交通止めや大雪による機能の低下が発生している。

国道 238 号のオムサロ付近は、地吹雪による交通障害多発地域で、時化時には道路に波が押し寄せ、近年は海岸侵食が進み 3～4 年後には道路崩壊が危惧される。

このため、吹き溜まり防護柵の増設、道路構造改良、除雪体制強化、浸食対策など早期の対応が必要であるが、長期的には道路法線の変更もふくめた検討が必要と考えられる。

## 交通安全と道路の長寿命化

### 1、高齢者、児童生徒の安全確保

小規模集落地にあって、歩道の片側のみ或いは未設置、又損耗度が高い箇所が随所に見られる。

このため、通学や社会参加に冬期間の安全安心な歩道整備の早期対応を願いたい。

### 2、道路の適切な維持管理

各都市間を結ぶ国道 238 号、273 号の安全で快適な通行確保に、より一層の維持管理の徹底を願いたい。

## 道路整備に係る財源の確保

道路特定財源制度については、平成 18 年 12 月の閣議決定において、道路歳出を上回る税収は一般財源化されることになったが、今後とも早期に必要な道路整備がなされまよう、安定的な道路財源の確保を願いたい。